



守谷発第 1727 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

守谷市長 会 田 真



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日（国道企第 114 号）に依頼があった，中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について，別紙のとおり回答いたします。

守谷市における道路の整備・管理について

1 基盤整備に関する現況

守谷市は、茨城県の南西部に位置し、東京都心から40km圏内にあります。

東は取手市に、西は常総市、北はつくばみらい市、南は千葉県野田市と柏市に相對しています。

市の面積は35.63km²、人口56,767人（平成19年5月1日現在）を有し、都心から約40km圏内という地理的条件に加え、平成17年8月のつくばエクスプレスが開業し、開業時の人口53,434人から1年半で3,333人増加するなど、茨城県の新たな玄関口として、また常総地域の中心都市としての期待が高まっています。

本市は、昭和41年に首都圏近郊整備地帯に指定されて以来、常磐自動車道の開通や北守谷団地、南守谷団地、パークシティ守谷など大規模住宅地の開発に合わせて道路網、上・下水道、公園などの都市基盤整備や生活環境の整備を推進してまいりました。

さらに、守谷市総合計画の指針である「夢と希望のあふれるまち」の実現をめざした都市づくりとして、つくばエクスプレス開業に合わせ、関東鉄道常総線守谷駅周辺においては区画整理事業を、道路網整備としては守谷駅を中心とした都市計画道路の整備を進め、安心して快適に住みつづけられる自然豊かなまちとなるよう、都市基盤の整備を積極的に進めているところです。

2 国・県道の主な要望（課題）

本市の道路網としては、主要幹線道路である国道294号や常総ふれあい道路そのバイパス的の道路である都市計画道路供平板戸井線のほか県道谷井田稲戸井停車場線、主要地方道守谷流山線並びに野田牛久線が広域幹線としてネットワークされ、市内の都市計画道路も守谷駅を中心とした都市機能を高めるために積極的に整備を進めておりますが、各幹線道路とも年々交通量が増加し、各所で交通渋滞が激しくなっております。

今般、つくばエクスプレスの開業及び都市軸道路（都市計画道路守谷伊奈谷和原線）

の一部が供用開始により、周辺地域から守谷市への車両の流入増加も含め、さらに交通渋滞が激しくなり守谷駅周辺へのスムーズなアクセスもできなくなるなど、都市機能に大きな影響が想定されますので、広域的な交通網の確保や、都市機能の確保につながる道路の整備が急務となっております。

以上のことから、本市の国県道の主な要望（課題）としては、次の5項目が挙げられます。

- ① 国道 294（4 車線化・立体化）の早期完成
- ② 都市計画道路供平板戸井線（主要地方道取手豊岡線のバイパス）の整備促進
- ③ 主要地方道野田牛久線（守谷市松並地区）の整備促進
- ④ 都市計画道路大柏野木崎線（主要地方道野田牛久線）の整備促進
- ⑤ 主要地方道取手豊岡線の歩道整備促進

その中でも、都市計画道路供平板戸井線の整備については、交通量が増加する国道 294 のバイパスとしてだけでなく、常総市・坂東市方面からのアクセス道路として重要な路線であります。

昭和 30 年に完成した滝下橋は老朽化とともに、幅員が狭い橋梁であり、つくばエクスプレスの開業に伴い交通渋滞が加速され（別紙参照）本市の都市機能に重大な影響を与えることから、滝下橋の代替としての都市計画道路供平板戸井線の新しい橋梁部分の早期完成が急務であります。

3 守谷市の課題

守谷市の道路延長は、467,348 メートルで、4m 以上の道路延長が、236,027 メートルであり、全線の約 50%が狭隘道路であり、拡幅改良が必要な路線です。

都市計画道路については、国県道の路線延長 30,690m で 14,960m が完了しており、整備率が 49%で、市道については路線延長 58,290m で 21,347m が完了しており、整備率が 77%と比較的高い水準だが、区画整理事業により面開発され、昭和 58 年に入

居開始した都市整備公団エリア等が大部分であり、旧市街地の整備が遅れている状況です。さらに、面開発区域は入居開始から 20 年以上経過し、道路の老朽化が深刻な問題となっている。

安全で快適な通行が確保されている道路のあり方は、行きたい場所に安心して、容易に行けたり、日々の生活の中で危険を感じない状況であるので、「日常利用する市内の道路は安全に通行できると思いますか？」との設問で市民にアンケート調査を実施しているが、「そう思う、どちらかと言うとそう思う」の合計が 48.9%であり、高い数字とは言えないため、道路の整備を積極的に実施していく必要がある。

以上のことから、日常利用する市道整備の主な課題としては、次の 2 項目が挙げられます。

- ① 一般市道維持管理・整備費 財源確保の国の積極的関与。
- ② 都市計画道路の整備推進に伴う国庫補助事業の補助率の拡大。

県道取手豊岡線 守谷市 滝下橋付近混雑状況

